説

古くから語り継がれてきた物語「むがし

ねさんに化だど、…(以下略)

たっけ狐 てろんときれ

べ。」って、草のかげさか

狐の恩返し

たば、川のどごさ、死んだ馬のだば

その死んだ馬どごつっつい

えぐって、一の渡りの橋のたも

地域一体から古き良き温泉街 の温泉地の代表格でもあり 現在の湯瀬地域は鹿角市

くくられます

むがし、長嶺のじさま、花輪の町の日

甚兵ェ川原のきつ 町の日さ商ねに行った帰りの人どだ

原を通りかがると、狐、川の水さ顔 (ころがある日、一人の若者甚兵で

されています。 盆踊り」も開催 情漂う一毛馬内 要無形民俗文化財にも指定されている、風

ネットを中心に情報交換を行ってい ーは全国各地に及び、現在はインタ

昭和の雰囲気を醸し出しています 毎年8月21~23日には国指定重 がらの古い家屋や、こもせ(こみせ 城下町の名残りを感じさせる昔た と呼ばれる商店街が今なお存在-現在の毛馬内地区には、かつての

嶺政也さん。

うなことが、研究家たちにミステリアスな

には遺跡や伝説などが数多くあり、そのよ

しておく事もロマンだそうです。「ここ鹿角 究の面白さであり、また時には謎のままに

思いを抱かせる理由ではないでしょうか」。

鹿角地域は、単に景色の美しい場所とい

うだけでなく、ミステリースポット・エネル

ギースポットとしての魅力も秘めていると

語って下さいました。

■鹿角UFO研究会へのお問い合わせは…

10186-22-1713(カヅノ無線

http://ufo.acz.jp/

ている駒ヶ

どを研究し

き、新たな発見にたどり着く事が一番の研

なく、様々な観点から調べ謎を解明してい

す」。不思議な出来事を、ただ単に都合の良

)かし、それでも解明できない謎はありま

い方に捉えてそのままにしておくのでは

目撃情報な 中のUFO 地域や世界

●ここ鹿角

鹿角地域の不思議を調べる **鹿角UFO研究**

ます。その活動はUFO研究だけにと もともとミステリアスなものが好き どまらず、鹿角地域で見聞きされるあ 〇研究会」を発足し活動を開始。メン メンバー三十数人と一緒に「鹿角UF だった事もあり、平成5年から地元の

らかの理由で説明できる物がほとんど。 らゆる不思議を探求しています。 から調べていくと、不思議の多くは何 駒ヶ嶺さんいわく、「いろいろな角度

の方言で語られており、物語の終 わりは必ず、語りおさめとして 一どっとはらえ」という言葉で締め この「どっとはらえ」という言葉を会の名前に冠 むがしっこ」は、この地方独特

自然に囲まれた遊歩 い渓谷があり、水と 色を楽しめる美し 道や、渓谷から見上 には四季折々の景 れます。また、周辺 の風情を感じら



げる石積みの柱に

え」の会では、毎週土曜日の20時~鹿角市湯瀬地区の

言葉の持つ温かみが伝わってきます。また「どっとはら 言を使用しゆったりと語られる「むがしっこ」からは 上段では文章でご紹介していますが、実際に地元の方 この採集・語り聞かせをボランティアで行っています

ホテル(第1・3姫の湯ホテル、第2・4湯瀬ホテル)に

の死んだ馬の一番めぇえた股の肉



ロケーションかづの(10186-23-2019)まで

■ロケに関するお問い合わせは・

■「どっとはらえ」の会へのお問い合わせは・

高橋節夫さん(100186-23-3383)まで

て、昔語りを披露しています。

物」と言われ、人々から ※狐は昔から「吉祥動

物であると思われていた 神様の使いや不思議な動 ことから、昔話のなかに

ようか。

鹿角さ来てけれ むがしっこ聞き

ットとして興 のパワースポ にあって最大 話題を提供 味の尽きない れた鹿角地域 てくれます



E角形を描くクロマンタ

ロマンタは、金 さわしいでしょう。 数々のミステリー

え」のみなさんです。平成5年に会を発足し、むがし

活動しているのが、「鹿角民話・伝説の会

どっとはら

鹿角のむがしって・方言を後世へ語り継いでいこうと

山銀山に囲ま

の環境も相まって神秘の山というにふ 形の山で頂点に本宮神社を頂くクロマ 位置にあります。高さ80mほどの三角 名な黒又山(くろまたやま)、通称クロマ なんとUFOの目撃談も多数あり、周辺 という説も。クロマンタ周辺では昔から され、日本版ピラミッドではなかったか ンタは、内部に空洞がある可能性も示唆 ノタは、大湯環状列石の北東約2kmの 全国のミステリーファンの間では

に包まれた奇山・ク